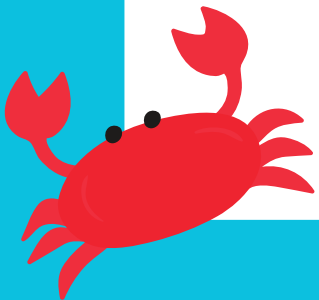


# 夏期講習

## 小学生コース テキストのご紹介

- ① 夏季特別テキスト 「サマペー」
- ② 算数文章題 「算数プリント」
- ③ 思考力教材 「なぞペー」
- ④ 書き写し教材 「あさがお」
- ⑤ 計算反復教材 「サボテン」

①～③は授業内だけで取り組みます。  
④⑤はご家庭でも宿題として  
1日1ページ取り組みます。



# ① サマペー

国語では、学年ごとに「映像化」  
「文章化」「比喻表現」などを学び表現力を鍛えます。算数では、「単位換算」  
「時計」「分数」など、学年ごとの重要項目を網羅します。



## 【映像化】

文章から想像を広げ、内容と照らして「正しく」イメージに落とし込む力を鍛えます。内容を過不足なくとらえる精読の力は、すべての科目の土台となります。

**映像化①**

でんでん虫  
野口雨情

今日は引越した  
でんでん虫の引越した

ポロポロ雨の降ってるに  
家を負って引越した

どこへ引越した  
茶の樹の葉っぱへ引越した

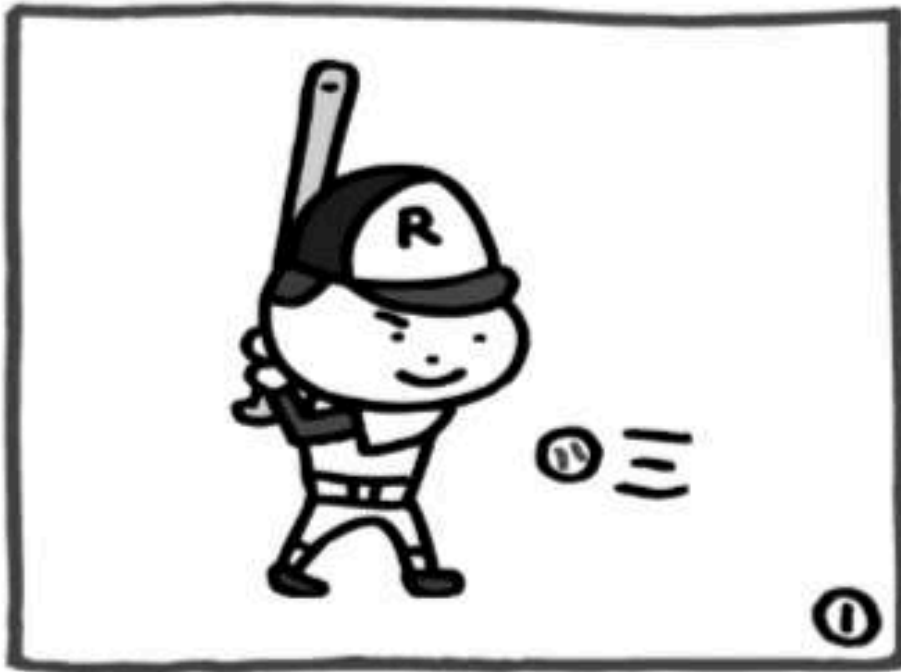
のろりのろり  
家を負って引越した  
のろり  
のろり

Q. どんな場面が思い浮かびますか？  
絵に描いてみましょう！

# 【文章化】

イラストの状況を、主語述語を正しく使って描写します。  
さらにそのあとどうなるのか（「オチ」）を文章で表現  
します。状況を適切に描写する表現力、そして自分だけの「オ  
チ」を考える豊かな発想力を養います。

ぶんしょう  
文章化②



男の子が

←  
どんなオチ？ひとことだけで書いてみよう。  
主語をわすれずにね。

自分の言葉でコマ目を説明してみよう。

# 【比喩表現（1年）】

豊かな表現力を支える技法としての比喩表現や、  
正確な文章作成に欠かせない接続詞についても触れます。

## 国語なぞペー③

### ◆比喩

（れい）

ホテルにある真っ白なベッド。

わたしは思わず、いきおいよく走ってベッドの上へ飛びのった。ふかふかのふとんにやわらかいまくら。

このベッドはまるでー

ーみたい。

つぎの（ ）に入るたとえを、自分で考えてみよう！

わたしの家ぞくは、たべものが大きいです。

お母さんは、マーボーどうぶが大好きです。

ママの作るマーボーどうぶのおとうふは、まるでー

（ ）のように、プルプル

です。お母さんは、あまくち、からくち、どっちも上手で、おいしいです。

### ◆接続詞

次のことばを横の□に入れて文を作ってみましょう。うまくくつつけるとこ一つの文がでます。

ただし、ひとつだけ文の中に入れるとおかしな意味になってしまう、使えない言葉があります。見つけられるかな？

- けれども
- なぜなら
- は
- あまいだります。
- が

けんちゃん

いちご

だいすきです。

いちごは

使わない言葉

# 【擬音語、主述の関係（2年）】

豊かな表現力を支える技法としての擬音語や擬態語（オノマトペ）について学びます。また、主語と述語の関係、構造変換（能動態⇔受動態）を学ぶことで、さらに表現の幅を広げます。

## 国語なぞぺー②

### ◆擬態語

①（ ）に当てはまる言葉を考えて書きましょう。

ぼくが飼っているうさぎの毛は（ ）

している。にんじんをあげると（ ）

と食べる。今日は、食べすぎたため、うさぎの

おなかは（ ）にふくれていた。

②「さらさら」はどんなものの様子を表しているかな？ 思い浮かぶものを□に書きましょう。

### ◆主述の関係

絵を見て、□に「あね」か「わたし」の言葉を入れましょう。○にはひらがなが一文字ずつ入ります。



①

が

をほめる。



②

を

がほめる。



③

ほめ

が

に

# 【擬音語、論理把握（3年）】

豊かな表現力を支える技法としての擬音語や擬態語（オノマトペ）について学びます。また、文章や出来事の「原因と結果（因果関係）」や「前提と結論」といった筋道を論理的に正しく理解する力も身につけます。

## 国語なぞペー①

### ◆擬音語

①（ ）に当てはまる言葉を考えて書きましよう。

かみなりが（ ）と鳴った。

まどの外を見ると雨が（ ）と降っ

ていた。楽しみにしていた運動会が中止になり

ぼくは（ ）と泣いた。

②「トントーン」何の音かな？

思い浮かぶものを□に書きましよう。

### ◆論理把握

正しくつながらるものに○をつけましよう。

① 私がこの本をなんとも読むのは、

ア 絵がとてもかわいい。

イ かわいい絵を見るのがたのしいからだ。

② みんなと公園であそぶやくそくをしていたのに、

ア 宿題がおわらず、公園に行けなかった。

イ ドッジボールをしてあそぶことができた。

③ おなかがいなくて、泣いていたわたしを、先生が

ア お母さんをよびにいってくれた。

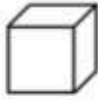
イ ほけんしつにつれていってくれた。

# 【手で考える算数（1年）】

「手で考える算数」では、**作図や数・量の概念の能力**を身につける問題を出題します。

## 手で考える算数②

線を足して立方体を描きましょう。



(1)	(5)
(2)	(6)
(3)	(7)
(4)	(8)

←立方体を描く問題。  
算数では、**自分で図を描いて考える力**が不可欠。  
まずは図形の基本中の基本である立方体の描き方をマスターすることで、「**描ける！**」という**自信**をつけます。

## 手で考える算数③

下の丸いケーキを、友だちと分けられるように線を入れます。  
けんかにならないよう、大きさが同じになるように分けましょう。

(1) 2つに分ける	(5) 2つに分ける
(2) 3つに分ける	(6) 3つに分ける
(3) 4つに分ける	(7) 4つに分ける
(4) 5つに分ける	(8) 5つに分ける

分数の問題→

分数を「**ケーキを切る**」というイメージしやすい形を出題。「**分数**」という概念に慣れていきます。

# 【時計（1年）】

デジタル時計の普及で、「アナログ時計が読めない」というご相談は年々増えています。長針と短針、二つのものが異なる動きをすることへの理解が伴いにくく難度の高い分野です。焦らずにじっくり取り組みましょう。

## 算数問題③

時計

声に出して時間を読みましょう。

時計は、  
長い針が「分」、短い針が「時」  
を表しています。



# 【単位換算（2・3年）】

耳から入った音を口に出して記憶することが得意な子どもの特性を活かし、大きな声で音読します。

まずは「音」で覚え、身近なものに例えることで量の感覚をより確かなものにしていきます。



まずはリズムに乗って  
楽しく音読♪



たん い かんさん  
単位換算

おも **【重さ】** ミリグラム **1000mg** は グラム **1g**  
 グラム **1000g** は キログラム **1kg**  
 キログラム **1000kg** は トン **1t**

なが **【長さ】** ミリメートル **10mm** は センチメートル **1cm**  
 センチメートル **100cm** は メートル **1m**  
 メートル **1000m** は キロメートル **1km**

たいせき **【体積】** ミリリットル **100mL** は デシリットル **1dL**  
 デシリットル **10dL** は リットル **1L**  
 リットル **1L** は ミリリットル **1000mL**

算数問題② 単位「長さ」

長さは「長い」「短い」という言葉で表現するよ。

ミリメートル **1mm**

↓ ×10

① センチメートル **1cm = 10mm** (ミリメートル)

↓ ×100

メートル **1m = 100cm** (センチメートル)

↓ ×1000

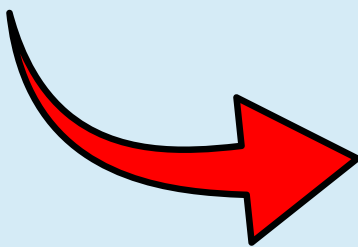
キロメートル **1km = 1000m** (メートル)

50m走の距離 × 20本 = 1000m = 1km

「k」は「1000倍」、「m」は「1000分の一」、「c」は「100分の一」という意味をそれぞれ持っています。

km	m	cm	mm

表を使って考えてみていいね!



音で覚えたら、クイズタイム!

「先生の身長を表すのは、mm? km?」  
 など、身近な例から単位の感覚をつかんでいきます。



# 【分数（2・3年）】

分数の概念に触れます。小学校低学年までは「整数」を中心に学びますが、分数によって「割り切れない数」や「1より小さい数」という**抽象的な数の操作**を学び、「数の概念」が広がります。また、中学校で学ぶ「方程式」や「関数」、「確率」などのベースは分数で成り立っており、**非常に重要な単元**です。

## 算数問題①

「分数」

分数とは、下記のような数のことです。

4ぶんの1

$$\frac{1}{4}$$

1を同じ大きさに4つに分けたものの1つ。



5ぶんの3

$$\frac{3}{5}$$

1を同じ大きさに5つに分けたものの3つ。



分数を声に出して読んでみましょう。

$\frac{1}{2}$		$\frac{2}{4}$		$\frac{3}{4}$	
$\frac{1}{3}$		$\frac{1}{4}$		$\frac{1}{5}$	
$\frac{2}{6}$		$\frac{2}{8}$		$\frac{2}{10}$	
$\frac{3}{9}$		$\frac{3}{12}$		$\frac{3}{15}$	

## ②算数プリント

「うちの子、文章題が苦手で・・・」というご相談は後を絶ちません。実は文章題を解くためには、

- ①自分で文章が読める
- ②文中の単語の意味が分かる
- ③文章全体を理解して映像として増減をイメージできる
- ④問題のポイントが見抜ける
- ⑤数の増減が計算と結びつく
- ⑥正しく立式する
- ⑦正しく計算する
- ⑧求められる形で答えを書く(単位など)

とたくさんのステップがあり、**ひとりひとりのつまづきを見極めながら**時間をかけて身につけていく必要があります。「もう！また間違っ！何回間違えるの！」という指導では、子どもの**苦手意識**が育つだけ。花まる学習会では、何度間違えても根気強く子どもと向き合い、最後には必ず全問正解の大きな花まると100点を書いて返却する「**最終満点法**」で、子どもの意欲を育てています。

最後はみんな100点でニッコリ笑顔！！



No.10

がつ  にち  ようび

1ねん  なまえ

「あわせる」… 十(たず)というきこうをつかいます。  
「のどりのがず」「どちらがおおい・すくない」… 一(ひく)というきこうをつかいます。

【1】りんごがワコ ももが9こありました。  
どちらが なんこ おおいでしょうか。

(しき)

こたえ

【2】たいへん！ハムスターが5ひきにけてしまいました。  
でも、しょういちろうくんは だいかつやく！5ひきの  
ハムスターをつかまえました。さて、まだつかまえられて  
いないハムスターは なんひきですか。

(しき)

こたえ

【3】まゆみちゃんは えんぴつを1ばんしか もっていません。  
ホーア、むかえんが せんとし いそががわらわら  
かってきてくれました。さらに けしごおも2こかってきてくれ  
ました。まゆみちゃんのえんぴつは なんばんになりましたか。

(しき)

こたえ

15-1-10

花まる学習会

# ③ なぞペー

子どもたちに大人気！

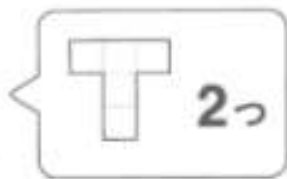
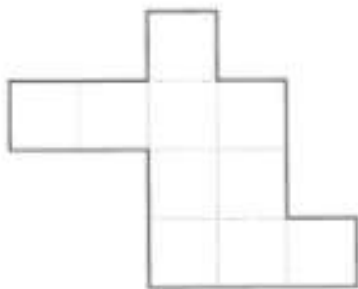
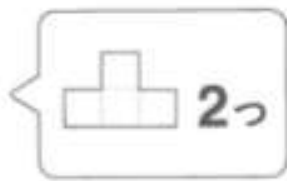
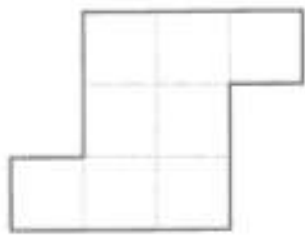
花まる学習会オリジナルの思考力教材です。

思考力において差のつきやすい5つの分野

（空間認識、平面図形、論理、発見、試行錯誤）に楽しく取り組みます。**算数・数学のプロが厳選した良問**で、思考のセンスを磨きます。（学年に応じて内容は異なります）

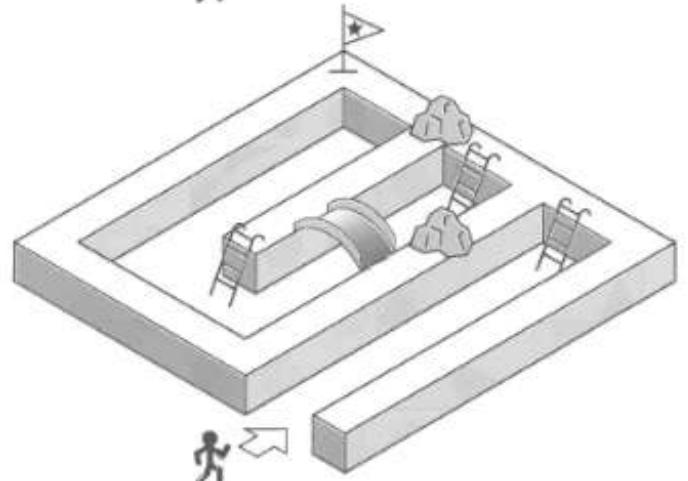
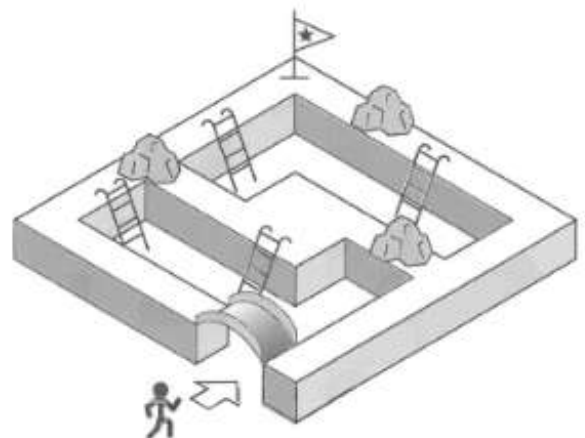


同じ形になるように、線を引いて分けましょう。



迷路やパズルなど、楽しみながら思考力を鍛える！

ゴールを目指しましょう。



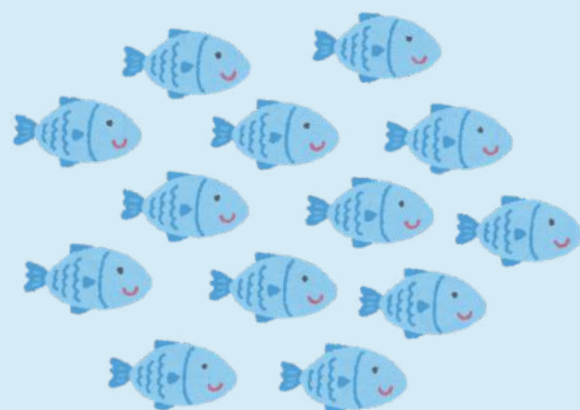
「できた！」という達成感が意欲や主体性を育みます。

# ④ あさがお



宿題（1日1ページ）の書き写し教材です。  
一言一句を正確に書き写す力は、読解に必要な「**精読力**」につながります。また「ゆっくり丁寧に」ではなく「読める字でテキパキと」書き写すことで、板書量が増える**高学年以降の学習**にもしっかきついていけるスピード感を養います。書き写すだけという、取り組みやすい内容なので、「毎日机に向かう」という習慣作りにはピッタリ！学校の宿題以外の**学習習慣の第一歩**におすすすめです。

		月		日			
お		し		う		「	
お		よ		ら		は	
ば		う		の		な	
ん		じ		は		さ	
、		き		た		か	
こ		じ		け		じ	
ば		い		で		じ	
ん		さ		、		い	
が		ん		ぽ		」	
、		、		ち			
		ほ		が			
		っ		な			
		た		く			
		れ		、			
		ば					
		、					



書き写しの題材は、  
童謡や詩など。  
美しい日本語に触れ、  
語感を磨く効果もあります。  
また、内容は学  
年ごとに異なります。



## なぜサボテンは、3分間だけ？やり直しもしないの？

それは低学年の児童の特性を踏まえた構成になっているからです。

1つは「**集中力**」に関係します。低学年の子どもの集中力は3分間が限度と言われています。集中を欠いた状態でだらだらと計算に取り組んでも精度が上がらないばかりか、「**勉強は嫌なもの!**」と刷り込まれてしまうことさえあります。子どものやる気を削がないために、サボテンは「3分間でできたところまで」なのです。

もう1つ、子どもたちは「**今**」しか見えていないため、解き直し、やり直しはしません。これも勉強嫌いにさせないためのポイントです。低学年の子どもたちは、「**今**」「**目の前のこと**」しか目に入りません。「**過去の振り返り**」や「**復習**」がまだまだ苦手な時期なのです。せっかく解き終わって丸付けも終わったページを「もう一度解きなさい!」と言われるのは、大人と違って大変な苦痛です。

こうした**低学年の子どもの特性**を踏まえて、サボテンは1ヶ月の間に同じような問題が繰り返し何度も出てくるように作っています。つまり、その日に嫌がる子どもに無理やり解き直しをさせなくても、子どもたちは翌日以降に知らぬ間にちゃんと「**復習**」できる、という仕組みなのです。

全ては、勉強に苦手意識を持たず、「**学習が楽しい!**」という気持ちで成長して行ってほしいから。サボテン以外の教材にも、工夫が満載です。気になった方は、ぜひ花まるの夏期講習を体験してください!

